

平成 29 年 6 月 1 日発行

Blue sky

都立城東特別支援学校
校長 川口 真澄

社会参加の力を身に付ける

副校長 松井 栄人

教育目標「知的障害のある児童・生徒一人一人の人権を尊重し、障害の状態等に応じた教育を推進するとともに、自立と社会参加に向けて、能力を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育成する。」を達成するためには、児童・生徒一人一人の実態に合わせた教育活動を指導の柱に据え、新たな教育活動を進め、授業改善を行うことが大切です。また、自立と社会参加を考えるうえでキャリア育成の視点が必要です。キャリア教育というと『働く力』と考えがちですが、キャリア教育とは児童・生徒が学校を卒業した後に社会的・職業的に自立し、自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育てることであり、長期的な視野に立ち一人一人の実態に合わせ、自らが考え、選択し、実行することができる力を身に付けるようにする教育を意味します。

児童・生徒が係活動に主体的に取り組む姿や授業の準備を自主的にする姿、授業の中で「これをしてほしい」「こちらを選択してほしい」と教員とやり取りする様子に、児童・生徒一人一人が将来に向け力をつけてきていることを感じます。9年間を占める小・中学部の学校生活の中で、児童・生徒のもつ多くの可能性をさらに伸ばし、社会で生きる力の基礎を育てることは本校の重要課題です。

先日の学校公開等でいただいたアンケート結果や今後の学校運営連絡協議会の御意見、学校評価を生かし、さらに学校としての課題を明確にし、指導の工夫を重ねて参ります。

学校と家庭と関係機関の連携を大切に、「共に生きる」ための児童・生徒へのアプローチを行い、自らが考え・選択し・実行する力を育てるためにも引き続き御理解・御協力をお願いします。

『第1回 学校公開』

主幹教諭 景山 陽子

今年度は5月と11月の年間2回、学校公開を開催します。5月24日(水)に第1回の学校公開が行われ、130人を超える多くの来校者がありました。全体会では校長から昨年度9月に新校舎に移ってからの様子を写真を交えて紹介があり、その後に授業を自由に見学していただきました。低学年の朝の体育では、参観者で体育室の舞台上が埋め尽くされ、あまりの暑さに冷房を入れると、「子供達は快適に運動できて良いですね。」との感想もいただきました。授業後の分科会では『就学前の分科会』と『小・中学部の分科会』の二つに分かれて学校説明を行い、授業、スクールバス、保護者との連携など具体的な質問がありました。学区域の小中学校の先生方や区の教育委員会関係者の方も数多く参加され、連携の良い機会となりました。第2回学校公開は、11月30日(木)に行われます。

『大塚ろう学校城東分教室との顔合わせの会』

昨年度、9月に両校で新校舎に移ったときに「はじめましての会」と称した顔合わせを体育室で行いました。今年度は5月の避難訓練の日にスクールバス駐車場で「顔合わせの会」を行いました。中学部3年生の宮司さん、三原さん、水上さんの3名が代表で挨拶をしました。ろう学校分教室は6年生の児童会長が挨拶をし、どちらもとても立派でした。今後は6年生が授業交流を行うために準備をしていきます。

